

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんぱつ



ご卒業おめでとうございます

中春別小学校第89回卒業証書授与式が3月17日に開催されました。多くの父母、在校生、関係者などが見守る中、卒業証書を手にとこれから始まる中学校生活へ胸をはずませ進学しました。

  
JA中春別

# 4月号

2017 Vol. 471

3月25日、酪農研修センター搾乳舎が完成

## 「(株)なかしゅんべつ未来牧場」竣工式、見学会を開催



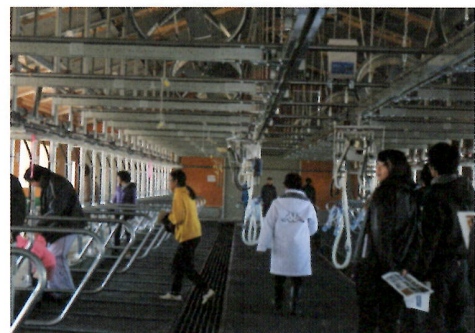
昨年9月より建設工事を進めていました「酪農研修センター搾乳舎」が、関係機関の完了検査が終了し、引き渡しになったことから、3月25日竣工式と翌日には組合員を対象に、場内施設の見学会を開催いたしました。

小湊組合長の挨拶後、出席者を代表しホクレン中標津支所船津支所長が「担い手育成や乳生産に寄与できる施設であり、なかしゅんべつ未来牧場が酪農発展の拠点の一つになる事を願います」と挨拶を



竣工式には別海町をはじめ、関係組織代表者、建設業者、酪農関連提携校及び別海高校教員など、役職員70人が参加し、修祓式では、畜舎平安と牛体息災を祈念し、参加者が玉串を奉奠しました。

述べられました。修祓式後、生乳処理室入り口でテープカットが行われ、出席者がオートメーション化された機械など、施設内を見学いたしました。また、3月26日には組合員を対象に見学会が開催され、組合員家族、地区内実習生、営農支援組織職員など60人が参加しました。搾乳舎では搾乳ユニットの自動搬送及び餌寄せロボットが操作が行われ、参加者の方々は機器の動きを興味深く観察していました。



場内施設では、間伐材と火山レキを活用した哺育育成舎、乾乳舎を見学し、明るさと換気、牛床の良さに関心を寄せていました。なお、見学会終了後、分娩牛を搾乳舎に移動した中で搾乳を開始し、4月1日なかしゅんべつ未来牧場として、生乳を初出荷しております。

# 最新の設備施設を視察

青年部視察研修 標茶町虹別 ■虹別の虹の郷 ■千葉牧場

青年部研修部会では知識向上及び部員間交流を目的として虹別虹の郷、千葉牧場への視察研修を3月13日に行いました。

虹の郷では4戸の農業者が集まり虹の郷として設立 されました。40Pのロータリーパーラーと発情発見装置アフィミルクを導入し、成牛が263頭、育成が161頭の飼育を行っています。



発情発見装置アフィミルクは、1時間に1回発情データと健康状態をWiFiを通してモニターングでき、牛の活動力を分析することで発情早期発見などに役立っています。



千葉牧場では、30Pのロータリーパーラーで約180頭を労働人数4人で1時間もかからずに搾り終えてしまいます。導入当時には牛の落下など問題がありましたが、改善を加えていき現在に至ります。また、自動給餌システムの導入や増築などにも考えており、増築時には今までの経験を活かして工夫をしていきたいとのことでした。



普段、見る事のできない施設や個人が感じていることなど分かりやすく説明していただき、とても有意義な視察研修となりました。



# 羽ばたいていきました

中春別小学校  
卒業式

夢と希望を胸に  
中学校へ進学しました

中春別小学校卒業証書授与式が3月17日(金)に来賓、父母、在校生が見守るなか執り行われました。



6年生にとって小学校生活最後の晴れ舞台「卒業式」。真新しい制服に袖を通し緊張した面持ちで入場した20人の卒業生たち。全校生徒による校歌斉唱が体育館に響きわたりました。

卒業生一人ひとり名前を



呼ばれ元気いっぱい「はい！」と返事をし壇上へ、校長先生から卒業証書が手渡され、握手を交わす姿にはいつもより大きく、たくましく感じました。

在校生送辞では初めての送辞に緊張した面持ちでしたが、楽しかった思い出など精一杯の気持ちを卒業する6年生に伝えました。卒業生からは勉強以外のことも教えてくれた先生たち、支えてくれた在校生、育ててくれた両親に「今までありがとうがとうございました」と感謝の気持ちが述べられました。最後に卒業生と在校生が向かい合い、互いに合唱で気持ちを伝えあい、今日で最後という気持ちと思い出で涙を流す生徒も見受け



られました。これから始まる中学校生活に希望を胸に、学び舎を後に大きく羽ばたいていきました。

# 学び舎を後に大きく

中春別中学校  
卒業式

## 17人が最後の思い出 を胸に巣立ちました

3月14日(火)、17人の生徒が中春別中学校を卒業されました。



少し緊張した様子の卒業生が入場、我が子を優しいまなざしで見守るお父さん、お母さん。一人ひとり名前を呼ばれると、「ハイ」と大きな声で返事をし、校長先生から卒業証書を受け取り、握手を交わしました。ステ

ージ上上がった卒業生はさらさらと輝いていました。在校生送辞では思い出や部活動でお世話になった感謝の気持ちを伝え、3年生から学んだことを活かしていきたいとお別れをし、卒業生答辞ではお世話になっ

た先生、友人、在校生、両親に感謝の気持ちとこれからの目標を熱く語りました。式歌斉唱では在校生から感謝の気持ちを込め「それぞれの夢へと」が送られ、卒業生は涙をこらえながら「変わらないもの」を両親、先生、在校生に向け歌い、体育館中に響かせました。

式が終わり教室に戻り最後の学活がスタートしました。生徒一人ひとり教室の前に立ち、3年間楽しかったこと、苦しかったこと、学んだことなどたくさん思い出を語り、友人たちに最後のお別れと担任の先生に「お世話になりました」と涙を堪え感謝の気持ちを伝え、学び舎を後にしました。



# よりよい部活動をめざして

第43回中春別農協女性部通常総会が3月22日に農業者団地センタートレーニング室にて開催されました。

開会にあたり齋藤部長より挨拶があり、続いて来賓の中春別農業協同組合小湊代表理事組合長、中春別酪農対策協議会伊藤会長、JA根室地区女性協議会畠山会



副部長

長より挨拶をいただきました。議長には中春別地区の永野真佐子さんと小林藍さんが指名され、議事に入りました。

議案第1号「平成28年度

事業報告並びに収支決算について」、議案第2号「平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、議案第3号「平成29年度会費の賦課並びに徴収方法について」、議案第4号

「規約改正について」、議案第5号「役員改選について」が可決承認されました。議案第4号「規約改正について」は齋藤部長より「規約第3章第12条では現在「役員任期は1年とし、再選は妨げない」としておりますが、

「役員の任期は部長2年1期、副部長・理事・監事は1年1期とし、再任は妨げない」に変更したい」と説明をいただきました。総会ではよりよい部活動を行うため



の活発な意見が提出されました。

29年度行事も引き続き自己スキルアップのため各種勉強会・講習会、部員間での交流の場の提供をしていきたいと考えております。新役員は次のとおりです。

- |     |       |
|-----|-------|
| 部長  | 齋藤 道子 |
| 副部長 | 南澤 順子 |
| 理事  | 西原 珠美 |
|     | 望月 千恵 |
|     | 原内 友子 |
|     | 林 幸枝  |
|     | 木原 幸恵 |
| 監事  | 山本まり子 |

▲多くの方が女性部総会に出席され活発な意見が出されました



第43回 中春別農協女性部通常総会

女性部新役員の紹介

## 女性部では加入者を募集しています

女性部では加入者を随時募集しています。同じ中春別に住む仲間として、交流や意見交換ができる仲間を、女性部を通して見つけていただければと思っております。お花に興味がある方は園芸グループ、お菓子作り、エコクラフト作りなどをしてみたいという方には趣味の会、現役を引退し、仲間たちとゆつくり過ごしたいという方には木の実部会、小さなお子様連れでも気軽に参加していただけるフレッシュユミセス部会があります。同じ趣味や年代の仲間たちと一緒に活動してみませんか？女性部での活動を通して、新しい趣味を見つけられたという方もいらっしゃいます！自分1人ではなかなか手をつけられない活動でも、仲間と一緒になら気軽に始められますよ♪他にも女性部では1年を通して様々な活動を行っています。宿泊研修や料理教室など、楽しい催しもたくさんあるので興味のある方は農協女性部事務局(電話7612241番)までご連絡ください。

# 各農協から女性部代議員が集い、事業計画を承認しました

J A根室地区女性協議会の第61回通常総会が3月24日に根室農業会館で開催され、各農協から女性部代議員ら関係者が出席しました。

J A根室地区女性協議会の第61回通常総会が3月24日に根室農業会館で開催され、各農協から女性部代議員ら関係者が出席しました。総会では議案第1号「平成28年度活動報告並びに収支決算の承認について」、議案第2号「設立60周年記念事業報告並びに収支決算の承認について」、議案第3号「平成29年度活動計画(案)並びに収支予算(案)の設定について」、議案第4号「平成29年度会費の賦課徴収方法(案)の決定について」、議案第5号「役員の変更について」などが満場一致にて可決承認されました。総会ではより良い女性の地位を確保するための活発な意見が提出されました。また、役員改選は

次の通りです。

会長 長谷川希美

副会長 J A けねべつ

齋藤 道子

J A 中春別

藤田登美子

J A 中標津

伊藤 邦子

J A 道東あさひ

吉田 和子

J A 標津

総会終了後はJ A根室地区女性協議会幹部部員研修会が開催され、J A根室地区女性協における「女性農業者のJ A運営参画促進」の取り組みと「平成28年度J A北海道女性協議会海外視察研修参加報告」をJ A標津女性部の大桃理事より報告していただきました。女性農業者のJ A運営参



## これからは自分が自立して意見を発信

画促進について、現段階で正組合員になっている部員の方達は、「農協は男女関係なく正組合員として自分の話しを聞いてくれることがとてもありがたい」今まで

がら、土、水、自然を守る役割を自分たちが担っているという思想、農業を営みながら自然とともに循環するシステムには、自然とともにある農業を始めとする1

は旦那様よりの意見の発信だったが、これからは自分が自立し、意見を発信していきたい」など前向きな意見が多く出されました。

J A北海道女性協議会海外視察研修参加報告では、「ドイツの研修先で出会った農業に携わる方たちは、大きな志を持っており、人々の暮らしを支える

次産業を守って行こうとする気概を感じました」と説明・感想をいただきました。



J A北海道女性協議会海外視察研修参加報告



新役員の紹介

中春別農協女性部・趣味の会

## 色鮮やかな花で 春を先取りしました

趣味の会ではプリザーブドフラワーのアレンジメントを2月24日(金)行いました。

今回はリースにプリザーブドフラワーを飾っていきます。あらかじめ形を整えてもらっていたリースに造花のツタとオレンジ・ピンクの花等を飾り付けていくの

ですが、ツタをリースの部分まで巻くか、花をどの位置に飾るかによってリースの雰囲気随分変化していきます。位置を微調整しながら飾って行き、皆さんの美的感覚が光る作品ができあがりました。  
色鮮やかなオレンジとピンクが良く映えまだまだ雪深いこの時期でも少しだけ春を感じられるような作品ができあがりました。



せんたく組の皆さんが飾り付けています



## ボランティア組織「そよかぜ」 ウエスを寄付しました

3月31日(金)にボランティア組織そよかぜ(高井恵美子代表)によるウエス寄付を行いました。JA中春別給油所と特別養護老人ホーム「清翠園」を訪問し、そよかぜ会員の皆さんが丁寧に細断したウエス6箱ほどを寄付しました。給油所と清翠園の職員の方々からは「ウエスが不足する時は、購入することもあり大変助かります」と喜んでいただきました。

そよかぜが回収している

ウエスとは、着なくなったり不要になったりした衣類やタオルなど布製品です。(木綿50%以上の布製品、ボタンやファスナーを取り外しているもので、Tシャツやタオルなどは、セーター、カーディガン、布団、毛布、帽子、パンツやくつ下の下着類、ベビー服です)ご家庭で不要なウエスを寄付していただける方は、農協金融窓口・掲示板下のウエス回収ボックスまでお願いいたします。

## ボランティア組織そよかぜ 会員募集!

ボランティア組織そよかぜでは一緒に活動する仲間を募集しています!

活動内容はお誕生日はがきの作成、介護施設へのウエス(古布)寄付、視察研修や講習会など様々な活動を行っており、昨年は別海のグループホームすらんに訪問ボランティアを行いました。そよかぜでは、たくさんの方の笑顔に出会えるように自分たちの「できることから」活動しています。一緒に活動してみたい方、活動に興味のある方はお気軽に営業振興課(☎762241)までご連絡ください!

## そよかぜサロン開放中!!

現在毎月第2水曜日は団地センター1階和室をそよかぜサロンとして開放しています!サロンには飲み物、血圧計、体重計、テレビがあり、誰でも自由に使うことができます。

サロンを開放する月には店舗にてお知らせをいたしますので、どなたでもご利用ください!



別海町清翠園(左)とJA中春別給油所へそれぞれウエスを寄付しました



# 早めに放牧を開始しよう！

舎飼期から放牧期への移行は、早めの準備でスムーズに行いたいものです。ちよつと早めの放牧開始が乳牛管理と放牧地の管理にとって重要です。

## 早春の「ならし」が重要



1. 早期の放牧で「ならし放牧」と「放牧草の伸びすぎ防止」を実施しよう！

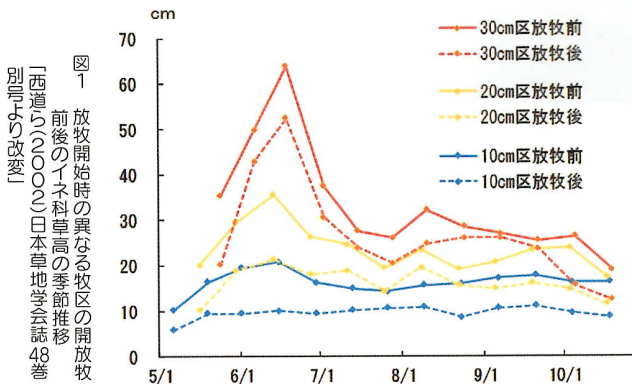
ならし放牧は、乳牛を外気温に馴らすためと、第一胃内の微生物をサイレージなどの貯蔵飼料から放牧草に対応させるために必要です。そのため、短時間に制限した放牧を行います。

ならし期間は、初産牛などの放牧未経験牛で2週間〜1カ月

程度、経験牛では10日間程度必要です。

短い草丈でのならし放牧の開始は、放牧草のスプリングフラッシュを抑制し、採食されずに伸びてしまう不食過繁草を増やさず、放牧草の有効活用につながります。

舐める程度の草高10cm程度から放牧をスタートすると伸びすぎない管理が出来ます(図1)。



管内では、例年より10日早い5月上旬から放牧を開始したところ、放牧地が有効に活用さ

れ、放牧期間の乳量が例年より高く維持されていた事例もあります。

## ならし放牧中は、牛舎パドックで粗飼料を十分に給与する必要があります。



ならし放牧期間は、放牧草だけでは十分な摂取量とはならないので、牛舎内やパドック等で粗飼料を充分給与して、乾物摂取量の確保に努めます。また、採食量の向上には飲水量は欠かせません。十分に水を飲める準備も必要です。

## 2. 放牧地の施肥も検討しよう！

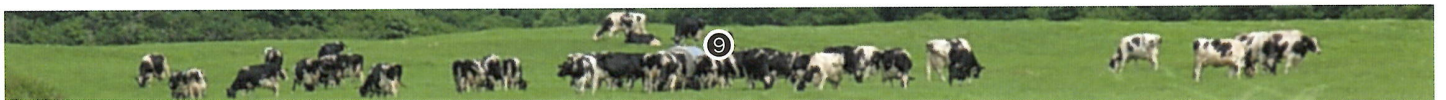
放牧開始が早かったり、転牧

回数が多くなる牧区は、早春の肥料散布でしっかりと草量を確保しましょう。しかし、放牧開始の遅くなる牧区は、春のスプリングフラッシュにより、不食過繁草が多くなる可能性がありますので、草量を見ながら転牧している合間を縫って施肥を行うことも検討してください(表1)。施肥後の休牧期間は2週間程度必要です。

表1 放牧地の施肥時期と施肥回数

施肥回数	5月上旬	6月下旬	7月下旬	8月下旬	備考
1		○			スプリングフラッシュ終了後
2	○		○		放牧開始時期の早い牧区
		○		○	放牧開始の遅い牧区
3	○	○		○	放牧開始が早く転牧の多い牧区

注) 均等施肥を基本とし、1回当たりの窒素施肥料3kg/10a程度を上限として施肥回数を決める (北海道施肥ガイド 2015)



# 温かい地域ならではの 開放的な牛舎とパーラーを視察

小林 義敬記

2月9日から3泊4日の日程でみらい塾8期生5人は、農協職員1人と共に熊本県の内ヶ島牧場と高木牧場を視察しました。併せて九州の風土について理解を深めるため、熊本から福岡へ名所旧跡を探訪しました。



行程初日はほぼ移動。中標津空港を午前9時20分に出発し新千歳空港、羽田空港を経て熊本空港へ着いたのは午後5時頃でした。熊本空港からはうつつすらと冠雪した山々が見え、メンバーの中に雪男がいるだろうなどと話しながら車を借りにレンタカーショップへ。地元

の人が阿蘇の外輪山が冠雪するなんてことは、とても珍しいと話していました。降雪予報が出ていたので念のためスタッドレスタイヤをつけてもらおうようお願いしていましたが、驚いたことにスタッドレスタイヤは取り扱っておらず、金属のチェーンのみレンタルできるということでした。雪が積もらないことを願いながら出発。

空港から市街地までは雪に出合うことなく順調に走れ、ラッシュアワーに巻き込まれながらも約1時間でホ

テルにつきました。ホテルは熊本城に近く夕食前に少し熊本城を見学。震災による損壊の修復のためのやぐらが組まれており、石垣崩壊のため縄張のほとんどが立ち入り禁止になっていましたが、ライトアップされた熊本城はとても美しいものでした。メンバー全員で夕食を食べ、それぞれ夜の街を散策しました。

## 熊本県内・内ヶ島牧場を視察

### 気をつかう悪臭対策

翌日、全酪連熊本の小久保さんの案内で熊本県内の牧場を視察。最初に視察したのは内ヶ島牧場です。道中、積雪こそありませんでしたが、北海道のような吹雪が続きいずれチェーンが必要になるであろうと覚悟しながら移動。牧場では内ヶ島さんと奥さん、息子さんにお出迎えいただきました。労働力は5人で、内ヶ島夫妻とお母さん、長男夫妻で経営されています。内ヶ島牧場の搾乳頭数は70頭で一頭あたりの平均乳量は31



2kg。自給飼料はイタリアンを12haの畑で、稲発酵飼料を25haの畑で栽培しています。昭和63年に就農し、平成3年には台風19号で牛舎が倒壊し一度は離農も考えたそうですが、息子さんが帰ってきたこともあり平成4年に42頭繋鉄骨牛舎を建設、平成18年には現在のフリーバーン、5頭ダブルパーラー牛舎を完成させたそうです。平成4年に作られた育成牛舎と同じくフリーバーン牛舎も壁がなく、とても風通しが良く作られています。内ヶ島牧場の立地は酪農家以外の農家や温泉

施設が隣接しており悪臭対策にとっても気を使っているそうです。それでもたまに苦情が届くことがあると人口密度の高い地域ならではの苦労話を聞かせていただきました。

内ヶ島牧場を後にし、鹿本農協鹿央地区ファーマーズマーケット夢大地館で昼食。次の目的地に向かおうとしたところ、内ヶ島さんが現れ堆肥保管場所も見学できることになりました。堆肥には温度計が刺され内部温度が約60度に保たれているか、すぐにチェックできるようににされています。この場所はもともと養豚場だったそうで、離農された跡地を買ったそうです。内ヶ島さんにお礼を申し上げた後、次の視察先の高木牧場へ車を進めます。

**高木牧場を視察  
自分たちの時間が  
もてる経営を**

高木牧場は、内ヶ島牧場から10kmほど離れた丘陵地帯にあります。周辺は谷戸状に田園が開かれており、

高木牧場以外にも酪農家が数件点在しています。高木牧場の労働力は4人で高木夫妻と、息子の大輔さん夫妻で経営されています。自給粗飼料は10町ほどの畑でイタリアンとヒエを主に作



っており、このほかに綿実や醤油粕を購入し与えています。二つ一つの畑のサイズが大きくなり、飛び地になっているので畑ごとに収穫日を分けているそうです。牛舎はフリーバーン形式で、8頭ダブルパラレルパーラーにより57頭を搾乳していま

す。牛舎にはすべての方角に壁がなく、とても風通しがよくできており、ほとんど臭いを感じることはありませんでした。丘陵地帯の頂点付近に建てられているので、先ほど視察した川沿いの内ヶ島牧場より涼

しいのではないかと質問したところ、この程度の標高では夏の暑さにはほとんど変わりなく、平地と同じく30度を超えることが多いそうです。牛舎にはVES社のECV Eファンが設置されており、壁がないだけでは足りず強力な送風が必要であることを物語っていました。夏は30度を超えるとはいえ冬は氷点下を下回ることもあり、牛舎の水道設備が凍ってしまうことも多いとのことでした。九州は暖かいので凍結とは無縁なのだろうという想像をしてみました。夏暑く、冬寒いとは九州の酪農も様々な工夫

が必要なのだと感じました。なお、高木牧場では乳牛のほか山羊、和牛、ポニーも飼育していました。山羊は某テレビアニメの登場人物の名前が付けられています。和牛はフリーバーン牛舎の一角に簡易的にロープで外と区切られた一画で飼われており簡単に逃げ出せるのですが、高木さんによると、この和牛は前足まで



は外に出るのだが、それ以上は怖くて出ていかないそうです。ポニーは柱間に張られたロープにナスカンで短いロープを繋ぎ、自由に動き回れるように飼われていました。今後の展望については今のところ、これ以上規模を拡大するつもりはなく、家族で自分たちの時間を十分に確保できる経営を維持したいとお話しをいただきました。

ここまで案内していただいた小久保さんと別れ、ホテルへ戻ります。帰り道は少し遠回りをして雲仙岳を見ようと有明海を望むミカン畑に抜きましたが、あいにくの空模様で見ることができませんでした。仕方なくホテルを目指し海岸沿いの道を走ると、途中で雲が途切れ海に浮かぶ雲仙岳を見ることができました。

次の日は九州風土の探訪です。どこへ行くかは事前に決めておらず現地のパンフレットやスマホなど駆使し即興で行程を作りました。まず向かったのは通潤橋です。周辺の設備は震災により崩壊している箇所もありましたが、通潤橋は無傷で当時の優れた土木技術力を見ることができました。併設された道の駅は雪の影響で臨時休業。北海道から見れば大したことのない湿り雪ですがやはり雪が降らない地域では一大事のようにです。次に大観峰展望台を目指します。途中、阿蘇高森付近で空模様が悪化。カーブの続く御成山の峠付近で気温はマイナス5度になり道はアイスバーンに。峠道でチェーンをはくこともできなかつたので、夏タイヤのまま慎重にダウンヒル。少しブレーキを踏んだだけですぐさまABSが作動、少しアクセルを踏み込めばトラクションコントロールシステムが作動するほどのアイスバーンでしたので少し緊張しました。峠を降りたところで今度は積雪が深くなり、い

よいよこれはダメだという頃、ラクダ山のふもとで日帰り温泉施設を発見。この駐車場でメンバー一同力を合わせてチェーンを装着。トラクターのチェーンならいざ知れず、乗用車のチェーン経

中大観峰を目指します。阿蘇山の東を回り込んだあたりから急激に雪がなくなり、チェーンを外し、少し進んだところで道の駅阿蘇で小休止。ここでメンバーの中からアイスの食べ比べをする



験者はいなかったものでチェーンを逆向き装着するなど悪戦苦闘。乗り心地最悪の

情のある温泉街であり、車の離合ができないほど道が狭いので、駐車場を探すのに

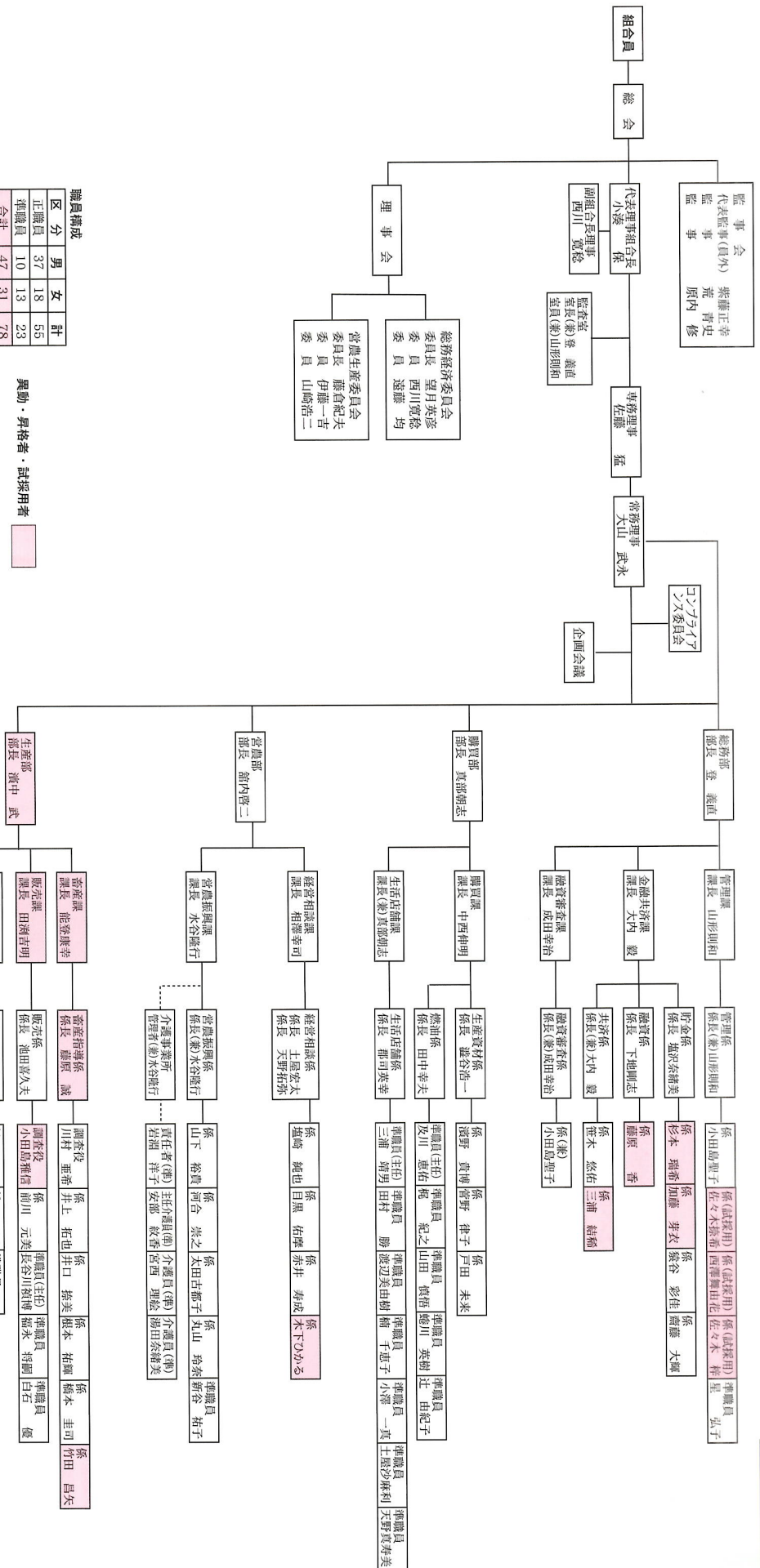
猛者ができました。アイスが頬張りながら、北の大観峰展望台へ。このころには天候はほぼ回復。青空のもと阿蘇山を望むことができたのは幸いです。良好な天候の中、黒川温泉へ車を走らせ昼食です。黒川温泉は風

一苦労。残りの一台分の駐車スペースを見つけられたことはとてもラッキーでした。待ちかねた遅めの昼食を取りせつかくなので日帰り温泉に入浴。入浴しないメンバーもいたので、そちらは黒川温泉郷を散策しました。黒川温泉はゆつくり散策するのも楽しいしちょうどよい広さの温泉郷でした。黒川温泉を満喫した後、九重連山をちらりと見つつ九州自動車道へ乗り込み福岡のホテルへ。福岡は思った以上に大きな都市で片側四輪車線の大きな道路を久しぶりに走りまわりました。時間があれば大宰府も見学したかったのですが、欲張りすぎたため時間切れ。博多といえば中州ということで早速、全員で夜の中州へ繰り出しました。博多もつ鍋を食べようということになり食事場所を探しましたが、どこも満席でなかなか店に入れません。手あたり次第に店を訪ねていると、調子のよさそうなお兄さんが話しかけてきました。博多もつ鍋を出してくれるおすすめのお店があるというので、紹介

されるがままパー風のお店へ。早速、注文しようとしたがメニューに博多もつ鍋がありません。店員に聞いたところテーブルメニューにはないが、カウンター上の黒板に書かれていました。カモにされたのではないかと勘ぐってしまいました。金額は良心的で、何より出てくるものがおいしく、博多もつ鍋も絶品でした。最後にはメニューにない料理まで振舞っていただき、とても良い時間を過ごせました。夜の博多を満喫しホテルに着いた頃には午前0時を回っていたように思います。最終日は、博多空港から新千歳空港への直行便で北海道入り。羽田を経由しただけで旅疲れした体にはよく、無事に中標津空港へ到着。九州で想定外の寒さと雪に見舞われながらも、温かい地域ならではの開放的な牛舎とパーラーを見学でき現地の農家さんから直接お話を聞けたことは、今後の私たちに少なからず良い影響を与えてくれることと思います。

# JA中春別 組織機構圖と職員配置圖

平成29年4月1日現在



職員構成

区分	男	女	計
正職員	37	18	55
準職員	10	13	23
合計	47	31	78
検定員	3	3	6

機構構成

室	1
部	4
課	10
係	13
事業所	1(介護)
組織	1(乳検)

奨励・昇格者・試験採用者

# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトををご覧ください。

## JA北海道中央会

札幌市内で、高校卒業を控えた児童養護施設の生徒向けに、調理実習体験「おとなの食育」を開催しました。

JAグループ北海道と「興正」子ども家庭支援センター」共催のこの取り組みは、高校卒業後、施設から巣立つ生徒に規則正しく健康的な食生活を送ってほしいという趣旨で実施しています。

札幌消費者協会「札幌ポトフの会」吉田講師からの「食」や「栄養」に関する座学、乳製品を使った調理実習体験に参加した生徒は「自分で作ると美味しい、今後もしつかり自炊したい」と笑顔で話してくれました。



## JA北海道信連

3月に札幌駅前通地下歩行空間でJAバンクPRイベントを行いました。ドドーン貯キャンペーン当選者の発表や冬季アジア大会銅メダリストのカーリング日本代表「ロコソラーレ」の本橋選手・吉田（知那美）選手によるトークショー、サイン色紙などの当たるクイズを行いました。また来場者のSNSにJAバンクポスターの写真を投稿してもらうなどJAバンクのPRに取り組みました。



## ホクレン

ホクレンは、新たな販路開拓に向け国内の食品に携わるバイヤーを対象にした「第二回JAグループ国産農畜産物商談会」(3月7、8日開催、JA全農など主催)に出展しました。てんさ

い糖や乳製品、北海道米、小袋豆などを幅広く紹介したほか、新たに商品化した「ゆめびり」の乾燥玄米入りグラノーラなどを試食提供し、北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。



## JA共済連北海道

JA共済連は、国立がん研究センターと「がん」に関する情報提供について包括連携協定を締結しています。

世界各国で啓発行事が行われた「世界がんデー」(2月4日)に合わせ、チラシや告知資料を作成し、組合員や地域の皆さまに「がん」の正しい知識など情報提供すると共に、「がん共済」医療共済の推進活動にも活用します。

※この取り組みについてはホームページにも掲載しております。



## JA北海道厚生連

「旭川厚生病院で「土曜ドック」を！」

旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどでお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話でお問い合わせください。

※完全予約制

(TEL)0166-331-7171(内)2146・2198)

# ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年  
(2017) 3月18日(土)

5月4日(木祝) / 20日(土)

9月16日(土)・17日(日)

平成30年  
(2018) 1月6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

## 休止させていただくサービス



### JAバンクのATM

JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



### JAネットバンクサービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



### コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



### デビットカードサービス

デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済



## 現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可経日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンク  
ホームページ

<http://www.jabank.org/>

### 【酪農経営科】農業クラブOB会入会式

2月28日(火)、卒業式に先立ち、同窓会、農業クラブOB会入会式が本校体育館で行われ、今年度の卒業生17人が新たに同窓会、OB会に加わりました。入会式では、小椋事務局長より「OB会入会に対するお祝いと別海高校酪農経営科に対する応援団として少しでも協力してください」と激励の言葉をいただきました。新入会員を代表して堀有樹君が「これまで農業クラブ行事で支えてもらい感謝しています。これからは卒業する酪農経営科の行事に少しでも力になれるよう頑張ります」と決意を表明しました。卒業式も3月1日に無事挙行政され、全日制課程8期生も無事に社会に巣立っていきました。在学生共々、今後も地域のみなさまのご指導をよろしくお願ひしたいと思ひます。なお、今年度の卒業式における表彰者は次のとおりです。



OB会入会式の模様

- 専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生  
日本学校農業クラブ連盟都道府県連盟会長表彰  
堀 有樹  
全国農業高等学校長協会賞  
渡部 優歌  
財団法人栗林育英学術財団研練褒賞  
矢内 佑輔  
日本学校農業クラブ北海道連盟農業クラブ員表彰  
永江 研児  
日本情報処理検定協会検定委員長賞  
内山 彩香

### 【酪農経営科】専門分会の活動がはじまります!

酪農経営科では、2年生から授業の一環として班別の研究活動に取り組んでいます。平成29年度からは、次の研究領域で学習活動を展開します。

- 飼料作物研究班(主に牧草など飼料作物の栽培の研究を行います)
- 資源循環研究班(主に家畜糞尿やバイオマス消化液などの利活用の研究を行います)
- 乳製品加工研究班(主に乳製品の加工や商品の開発などの研究を行います)
- 畑作園芸研究班(バイオマス資源の活用、栽培技術の確立と地域交流を研究します)

これらの研究班は地域酪農や産業の課題に取り組んでいく予定です。今後研究活動の計画を立案し具体的なテーマを決定していきます。地域の皆様からもご指導やご助言をいただく事になると思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

### 【経営面接指導】

2月22日(水)2年目、学生対象に経営面接指導が実施されました。自家の1年間の酪農経営(組合員勘定取引や資産台帳の変化・追加など)を経営管理ソフトを用いて月毎に入力し、損益計算書、期末貸借対照表と乳検データを元に、総合的な分析を行います。分析データを基に自家経営についてご指導ご助言をいただき、今後の経営に活かすことを目的としています。根釧農業試験場技術普及室、農業改良普及センターや学生の所属農協より講師をお招きし、今後の経営についてアドバイスをいただきました。学生にとっては、日々の悩みや将来のビジョンも含めた面接指導となり、「普段なかなか聞くことのできない内容について、たくさんのアドバイスをいただき、今後の経営改善の一助としたい」などの感想があがっていました。



経営面接指導の様子

### 【修了証書授与式挙行政】

3月1日(水)に本校において第44回農業特別専攻科修了証書授与式が挙行政されました。各地区から日々登校してきた修了生6人が、在校生・教職員・来賓の皆様に見送られ2年間の課程を修了しました。修了を迎えることができたのも地域の皆様、関係機関のご理解とご協力あつての修了だと感じております。この場をお借りして感謝申し上げます。別海町中西別の修了生代表林健永さんは「大切な仲間と出会うことができ、生涯を通して切磋琢磨しながら、これからは前に進んでいきたい」と堂々と答辞を述べました。



第44回修了証書授与式

### 【基礎研究発表会実施】

3月15日(水)に基礎研究活動発表会が実施されました。4人の1年目学生が1年間の自家経営について乳量乳質、繁殖成績、土壌分析の結果などを発表しました。学生代表の芳賀亮介さんは、「自家経営のことについて見つめる機会がなかなかなく、今回のまとめを活かして、今後の経営をよりよくしていきたい」と学生を代表して挨拶を述べました。今後も継続して自家の課題解決学習に取り組み、経営者・酪農従事者としてのスキルアップにつなげてほしいと思ひます。



基礎研究発表会



## 退職の挨拶



友貞 義照

退職にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昭和54年4月に中春別農業協同組合に入組し、総務部、購買部、営農部、生産部の各部署を異動し、様々な業務に当たって参りました。この間、組合員の皆様の温かいご指導とご鞭撻により、38年間無事に勤めさせていただきました。

いた事に対し、深く感謝申し上げます。

昭和、平成と農協を取り巻く情勢は激動の時代であり、昭和58年の農協再建整備から始まり、2度の農協合併協議を経験し、最終的には組合員皆様の多大なるご理解のもと、適切な判断により、現在の強靱な中春別農業協同組合が成り立っていると思ひ、携わった職員一人として、改めて感慨深いものがあります。

今後は、共和育成牧場事業を引き継ぐ、株なかしゅんべつ未来牧場の取締役として職に就き、地域の労働

## 退職にあたって



福島 岩夫

この度、3月31日をもって定年退職いたしました。昭和51年7月に家畜人工授精師として採用していただき、約40年の永い間、組合員の皆様、役職員の皆様に

は、公私にわたり心温まるご指導とご厚情により大過なく努めさせていただきました事を心から厚くお礼申し上げます。

今後は皆様方のご教訓を糧に数々の思い出を大切に有意義な第二の人生を送りたいと思っております。

これからも今まで同様の交誼を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心か

力補完事業の推進と、担い手育成確保を図るため積極的に事業を展開して参りますので、今まで以上にご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、組合員及びご家族皆様方のご健勝と、中春別農業協同組合の更なる発展をご祈念申し上げます。長い間本当にありがとうございました。



らご祈念申し上げます、退職のご挨拶とさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。

## 2月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

## 2月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支乳	前年	差	項目	単価(円)/(kg) %		
乳脂肪分		904.705		36.48	36.40	0.08	乳脂肪分①	36円48銭		
無脂乳固形分		572.947		50.48	50.15	0.33	無脂乳固形分②	50円48銭		
補給金		4.3894		4.39	5.14	-0.75	補給金③	4円39銭		
計画チーズ奨励金		1.8634		1.86	1.65	0.21	チーズ奨励金④	1円86銭		
乳質単価	生菌数	ランク1	2	281,617,287.1kg	3.74	3.73	0.01	脂肪率	全道	4.03%
		ランク2	0	6,788,078.6kg				農協	4.12%	
		ランク3	-3	85,177.6kg				無脂固形分率	全道	8.81%
	体細胞数	ランク1	2	250,966,932.7kg				農協	8.78%	
		ランク2	1	20,024,456.0kg				成分乳価	全道	93円21銭
		ランク3	-2	3,021,865.8kg				①+②+③+④=⑤	農協	93円79銭
合計				96.95	97.07	-0.12	乳質乳価⑥	全道 3円74銭 農協 3円71銭		
							乳代合計	全道 96円95銭 農協 97円50銭		
							⑤+⑥	差異 0円55銭		

**議案**

1. 平成29年度役員との取引基準について
2. 平成29年度貸付金利率の最高限度額について
3. 平成29年度信用供与等限度額設定について
4. (有)別海町酪農研修牧場への資金貸付について
5. 固定資産の取得について
6. 北海道常例検査に伴う指摘事項改善状況等の回答について
7. 乳用牛貸付規程の制定について
8. (株)なかしゅんべつ未来牧場乳用牛貸付契約の締結について
9. (株)なかしゅんべつ未来牧場建物設備及び器具機械等賃貸借契約の締結について
10. (株)なかしゅんべつ未来牧場休養施設賃貸借契約の締結について
11. 平成29年度飼料奨励実施要領(案)の制定について
12. 就業規則並びに規程類の制定・廃止・改正について
13. 出資金の減口について
14. 営農貯金特例流動について
15. 平成29年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
16. 家畜ふん尿貯留施設整備事業実施要領(案)について
17. 平成29年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る事業計画について
18. 平成29年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る事業計画について
19. 平成29年度自給飼料生産性向上対策事業の実施について
20. 糞尿利活用草地整備改良事業実施要綱(案)について
21. 修学資金制度交付規程(案)について
22. 訪問介護事業運営規程の改正について
23. 酪農研修施設に係る固定資産の取得について
24. (株)なかしゅんべつ未来牧場に係る資金の貸付について
25. 平成29年度職員給与表について
26. 平成28年度期末賞与の支給について
27. 平成29年度職員給与の定期昇給について

**報告事項**

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. 平成28年度12月末定期監査報告書について
4. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
5. 平成29年度理事報酬額の諮問に対する答申について
6. 平成28年度生産性向上整備に係る助成金の支出について
7. 固定資産の除却について
8. 固定資産の取得について
9. 流動性カバレッジ(LCR)比率に係る要領の制定について
10. 平成28年度2月末営農生産関連実績について
11. 平成28年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る自己負担金の精算について
12. 平成28年度草地難防除雑草駆除対策事業(農協:糞尿利活用草地整備事業)に係る自己負担金の精算について
13. 平成28年度良質乳生産基盤強化支援事業の実績について

- 14. 平成29年度府県乳牛動向追跡調査の実施について
- 15. 平成29年度(前期)JA中春別選定種雄牛について
- 16. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

**協議事項**

- 1. 別海町農業委員の推薦について
- 2. 地区別組合員懇談会の意見集約について

# I N F O R M A T I O N

## 4月28日(金) ミルク王国オープン!

地元の良質牛乳がたっぷり!コクと風味が違う!!

4月28日(金)ミルク王国の営業を始めます。別海町の牛乳をふんだんに使用したソフトクリームで、当地区の生乳も使用しています。「甘すぎず、サッパリとした味」子供からお年寄りまで幅広くご好評いただいております。

商品は、ソフトクリーム、アイスクリーム、シェイクなど豊富なメニューを取り揃えており、バナナ味、マスカルポーネ味のソフトクリーム数種類を週替わりで販売いたしますのでご賞味ください。



営業期間 4月28日(金)~10月上旬  
営業時間 午前10時~午後5時まで

※毎週木曜日は機械洗浄のため、通常営業時間より1時間早く閉店となります。また、悪天候も閉店とさせていただきますのでご了承願います。

## 農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動お礼と結果報告

実績 2,813,827円

今年も農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動の取りまとめを行いました。

今年度は青年部・女性部のお中元、お歳暮、第一・第二次ギフトセット。中春別酪農対策協議会目標金額2,230,000円を大きく上回り2,813,827円という結果になりました。多くのご注文ありがとうございました。

来年度以降も消費拡大を目指し、皆さんにお喜びいただけるよう取り組んでいきたいと思っております。



# 組合員の 広場



作品名「遙か国後島を望み餌をついばむエソシカ」兼松幸裕氏



作品名「狩り・オオウシ」兼松幸裕氏

今月号の組合員の広場は「写友 北風」の作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。